

アジア競技大会を活用した地域活性化ビジョン【概要版】

<策定の目的と位置づけ>

- 2026年に愛知・名古屋で開催される第20回アジア競技大会を契機として、本県として取り組むべき地域活性化の方向性を示しています。
- 県として実施することの他、県民、市町村、団体、企業等とともに、アジア競技大会を活かした地域活性化の取組を推進するための指針としての役割も担っています。
- 本ビジョンは、「あいちビジョン2020」の趣旨・理念等を踏まえつつ、また関連計画や関連ビジョンにおける事業・取組との整合に留意しつつ策定しました。

<計画期間の考え方>

- 2030年頃の本県の姿を見据えながら、アジア競技大会前、大会期間中、大会後のそれぞれに取り組むべき地域活性化の方向性を定めています。

<第20回アジア競技大会の開催概要>

- 【会 期】2026年9月19日（土）から10月4日（日）
- 【実施競技】パリオリンピック（2024年）で実施される競技に加え、アジア特有の競技等（40競技程度で調整予定）
- 【選手団（選手、コーチ等）】約15,000人

<アジア競技大会を活用した地域活性化に向けた4つの視点>

【スポーツの力を活かす】

本県におけるスポーツをさらに発展させるとともに、教育・人材育成、健康づくり・地域福祉、産業振興、観光・文化振興等の社会課題の解決に向けてスポーツが備える多様な力を幅広く捉え、愛知及び日本・アジアの活性化に活かします。

【アジアと強くつながる】

アジア最大のスポーツの祭典であるアジア競技大会が愛知で開催される機会を活かし、成長著しいアジア各国・地域との経済、文化、友好等の交流活動を積極的に展開することにより、つながりをより一層強いものとしていきます。

【多彩な人々が参加する】

大会組織委員会や行政だけではなく、様々な分野、世代、立場の県民、企業・団体等が大会を“自分ごと”として捉え、主体的に関わっていく大会とし、多くの人々の参加の下で地域活性化に取り組みます。

【リニア開業を見据える】

愛知・名古屋大会翌年の2027年に開業が予定されているリニア中央新幹線（東京－名古屋）がもたらす国土構造の変化と本県の各地域へのインパクトを見据えて、地域活性化に取り組みます。



<地域活性化のための基本施策>

目標1 スポーツで愛知をブランディングする【スポーツ・健康】

愛知・名古屋大会の開催を契機に、多面にわたるスポーツの価値を理解し、高めるための取組を通じて、愛知のブランド力を高めていきます。

基本施策	主な取組
1-1. トップアスリートの育成・輩出	① タレント発掘・育成事業「あいちトップアスリートアカデミー（仮称）」の実施 ② 競技力向上対策事業、オリンピックあいち選手強化事業の継続 ③ アスリートサポート事業の実施 ④ コーチ・トレーナー等のサポート人材の育成・確保 ⑤ トレーニング環境の充実
1-2. スポーツの振興	① 地域のスポーツイベントの活性化 ② スポーツ関連施設の有効活用の促進 ③ 地域に密着した特定競技の普及・支援の推進 ④ 地元チーム・アスリート応援事業の実施
1-3. スポーツ大会等の招致	① 国際的大会、国際親善試合の招致・育成 ② 各世代の全国大会の招致・開催 ③ トレーニングキャンプ等の誘致
1-4. アジアのスポーツ振興への貢献	① アジアのアスリートの受入 ② アスリート・指導者等によるアジアとの交流 ③ アジア競技大会の運営ノウハウの提供

目標2 多くの来訪者で賑わう愛知をつくる【観光・文化】

アジア競技大会の開催に向けて、アジア各国を対象としたインバウンド観光の振興を図るとともに、愛知の文化、芸術、コンテンツに対する関心を大会前から高めていくことにより、魅力があり、訪れやすい地域としての評価を獲得し、多くの来訪者で賑わう愛知をつくります。

基本施策	主な取組
2-1. 愛知を中心とした観光交流拠点の形成	① アジア競技大会のPRと併せた愛知の魅力発信 ② アジアからの来訪者向けのツアー造成 ③ 食文化の魅力の発信 ④ 広域観光の推進
2-2. スポーツ・文化等のコンテンツの充実	① スポーツツーリズムの推進 ② 文化芸術イベントの展開 ③ 産業観光・歴史観光の推進
2-3. 受入環境の整備、おもてなしの充実	① 来訪者の利便性の向上 ② 案内機能・多言語対応の充実 ③ 多様な文化・宗教への配慮



目標3 アジアにおける愛知の産業の存在感を強める【地域経済・産業】

次世代自動車、航空機などに代表される愛知のものづくりの先端技術や地場産業、農林水産物等をアジアに向けて強くアピールすることにより、アジアと愛知の関係性を深化させ、アジアにおける愛知の産業の存在感を強めていきます。

基本施策	主な取組
3-1.アジアやスポーツの課題に対応する技術開発の促進	①アジアの課題解決に貢献するビジネス展開の促進 ②スポーツとの連携による産業の新たな展開
3-2.「Made in AICHI」のブランド力強化と販路拡大	①大会の各場面を使った「Made in AICHI」のショーケース化 ②アジアにおける「Made in AICHI」の販路拡大 ③県内企業のアジア展開の促進
3-3.アジアからの人材の活躍促進	①外国人留学生の地域での活躍促進 ②外国人県民の地域定着、キャリアアップの促進 ③外国人材の受入促進による産業競争力の向上

目標4 アジアと愛知の次世代を育む【人材育成・国際貢献】

オリンピズムの根本原則も踏まえながら、ボランティア文化を成熟・定着させていくとともに、アジアとの交流活動、国際理解教育等を継続的に展開することにより、アジアと愛知の次世代を担う人材を育成します。また、あらゆる人々が多様な分野で活躍し、その能力を発揮できる社会の実現を目指します。

基本施策	主な取組
4-1.ボランティアの育成	①ボランティアの定着化の促進 ②ボランティア人材の育成 ③大会を支えるボランティアの確保・育成
4-2.アジアとの交流の活発化	①地域におけるアジア各国との交流・友好の促進 ②アジアの外国人県民とのネットワークの強化 ③多様な分野によるアジア各国との交流促進
4-3.グローバル人材の育成と共生社会の推進	①国際理解教育の推進 ②国際人材を目指したキャリア教育 ③交換留学、海外との人材交流の促進 ④共生社会の推進



<SDGs（持続可能な開発目標）の達成への貢献>

本県では愛知万博、COP10、ESD に関するユネスコ世界会議が開催され、これらの理念や成果を継承して持続可能な社会づくりに取り組んでいることから、2030 年を年限とする 17 の国際目標が定められている SDGs に対しても、本ビジョンの取組の推進にあたり、達成に貢献できる内容や方法を検討していきます。



<ビジョンの推進に向けて>

- 庁内関係部局と密接に連携するとともに、アジア競技大会組織委員会が策定する計画や実施する事業等との調整を図りつつ、事業の推進に取り組んでいきます。
- 県民、市町村、競技団体、経済団体、企業、教育機関、NPO等の様々な主体との連携・協働関係を構築するとともに、ビジョンに掲げた取組に関する情報共有を図り、ビジョンの推進に取り組んでいきます。
- 目指す姿の実現状況や事業の進捗状況について、フォローアップしながら、必要に応じて柔軟にビジョンの見直しを行います。

アジア競技大会に向けた主な取組例

「タレント発掘・育成事業「あいちトップアスリートアカデミー（仮称）」の実施

愛知・名古屋大会やオリンピック、世界選手権等に本県から数多くの選手を輩出するため、各競技の特性に応じた優れた資質や能力を有する人を発掘し、発達や発育のレベルに応じた効果的かつ一貫した育成プログラムを実施する事業に取り組めます。なお、この事業の実施においては、愛知県スポーツ協会[※]や各競技団体とともに、大学や学校部活動、スポーツクラブ、スポーツ指導者等の協力・連携体制を構築していきます。

※「愛知県体育協会」は2019年4月から「愛知県スポーツ協会」に名称変更を予定しています。

スポーツツーリズムの推進

アジア各国から本県に訪れる外国人旅行者の拡大を図るため、「あいちスポーツコミッション」を活用しつつ、観戦型・参加型のスポーツツーリズムの定着を図っていきます。

大会の各場面を使った「Made in AICHI」のショーケース化

アジアに向けて発信できる次世代自動車等の先進的な産業技術や地場産品、農林水産物等を愛知・名古屋大会の様々な場において積極的に活用し、産業技術の先進性や品質の高さを体感できるショーケースの舞台として活用します。

ボランティアの定着化の促進

県内で開催される様々なスポーツ大会、スポーツイベントにおいてボランティアの活動機会の拡大を図るとともに、県・市町村、学校、企業・団体等、様々なチャンネルを通じて、ボランティア活動に関する情報提供等を強化することにより、スポーツをきっかけに参加したボランティアの継続的な活動を促進します。

アジア競技大会を活用した地域活性化ビジョン【概要版】 2019年3月

編集・発行：愛知県振興部アジア競技大会推進課

電話：052-961-2111（代表）

ホームページ：<https://www.pref.aichi.jp>